

国際性と現代性をもったユニークな 神戸の文化創造をめざすべきだ

■座談会出席者（敬称略・順不同）

尾上 久雄 ▲京都大学名誉教授▼

水谷 顕介 ▲都市計画家▼

石阪 春生 ▲洋画家▼

神戸市誕生百周年を迎え、明石大橋、神戸沖空港などハード面の充実が計られてゆくなかで、「文化の時代」に国際文化都市神戸の文化創造を支えてゆくものは何か、どのような未来像が描けるのか、神戸文化の可能性について、神戸市第二世紀のソフトウエアについて語り合っていた。

タイムリーな神戸文化の振興

——国際都市神戸として、より一層文化を振興しようという気持が市民、行政、経済界にも高まって来ています。尾上さん「文化の時代」と言われるようになったゆえんは何からでしょうか。

尾上 二つぐらい理由があります。一つは最近の現象で造船、鉄鋼などの重工業がニーズ（新興工業国）に追いつけられ、世界の産業構造の中で日本の受け持つ分野が変りつつあることですね。今まで造船所だったのがレジャーランドを作るといふようなことです。

も一つ長期的、歴史的にはこれまでの都市は企業の従

属物で、社員のための消費地、住居地でしたが、世界の先進都市でそれではいけないという気運が出て来た。文化的・自然環境的な満足を人々に与えないと企業自身の位置も保持できないという認識に変って来てます。

また国の政策で昭和六十二年に発表された国土庁の第四次全国総合国土計画では関西（京阪神）は産業文化の中心地域と規定されている。第三次計画では人口の集中・集積を排除する規制があったのが外れるはずで、絶好のチャンスです。市内にでも大学を作るなどすべきで、神戸の都市問題と文化とを結びつけて、今、振興しようとする意味があるのです。

水谷 都市としての神戸の展望を過去の流れからだけでなく未来にこうあるべきだということからの理想を前提に出発したいと思っています。神戸は都市ではあるが大東京、歴史的京都と違う、またローカルでもない。そのどちらでもないということとを良さとして捉えて日本の他の都市と比べて「神戸はこれやで」というものを共通言語として想起するには、皆でもっと話し合って行か



石坂春生さん



水谷顕介さん



尾上久雄さん

ないといけないと思いますね。

石坂 日本列島の中で今までの神戸は、東京サイドからの、または幻想の、あるいは神戸という言葉の音が快適に聞こえたりする位置づけでした。私は絵描きですから視覚的な神戸を見ると「これは神戸だ、デイス・イズ・コーベ」という形づくりにはやや絶望的な混沌がやって来ている（笑）、世界的にも混沌がやって来ている、しかし逆にこの混沌が非常に未来性を持つような気がしますね。その混沌の中で私はアトリエの密室で自分の絵を描いているのですが（笑）、そのことと、街と、繋がりがあれば嬉しいな、ということなんです。

尾上 西洋というものを啓蒙文化的に取り入れた頃の国際都市のニュアンスを持つものは神戸画壇ですね。これは都市のハードウェアとしての神戸港を媒体にして、許容、文化、ソフトどんな言葉でもいいが根がちゃんとある大したものだと思いますよ。

石坂 小磯さんとか竹中さんなど明治の方が若い時にパリに行って勉強し、帰って来て神戸に住み続けた。神戸への直輸入的要素のあるアーティスト達で、小磯さんも「私は生涯ヨーロッパの伝統絵画をやるのだ」といっていたし、絵描きだけでなく竹中郁のような詩人もいて、直輸入性で神戸の中で頑張ったからです。

水谷 神戸から出た人は世界の港町に出かけ神戸に帰って来て好きで住んだのです。神戸を根拠地にして他市や世界で仕事をして帰って来る、小磯良平は東京、竹中郁は大阪、朝比奈隆も大阪、陳舜臣は中国、などです。この神戸の中で気分よく暮しているだけではない。港町神戸というアイデンティティがあくまでも基本です。アジアの港湾都市、香港、シンガポールと比べてどうか、アジアの中心的な港湾都市としてはどうかということから、大事なテーマが出て来るのではないのでしょうか。

若者の素直な感性に期待する

尾上 文化の需要という面から考えると、経済主義者だ

と見られているカール・マルクスがある本の中で「余暇——真に創造な時間」と書いているが、絵とか科学的新発見とかは時間がなければできないし、生産労働だけであくせくしては本当の創造的生産は伸びない。マルクスでさえ余暇を最も創造的時間と考えていたことを発見して彼を見直しました。(笑) 経済の目的は生産力が伸びることによって余暇、ひいては文化が生まれること。文化は手段ではなくて目的、あえていえば経済の方こそ手段だと言わねばです。

その意味で、神戸は来てみて楽しい街に建設してゆく絶好のチャンスですね。産業革命以来ろくな都市計画はないが、ルフェーブルという人が、ウィーンだけは芸術の都市で産業の従属物ではないと賞めています。確かに一つの典型です。神戸はそんなに意識的に作られてはいないが外国の都市に比べて遜色ない。国際性、現代性を持った日本の中ではユニークなアイデンティティを持った都市だと思います。

文化の常識としての京都の古典芸術とか淡路の文楽などではなく、神戸には新しい、若者が好むような他とは違うもの、ハイカラなもの、神戸らしいミュージカルとか現代音楽などが似合うと思う。これからの担い手、二十代の人達が喜ぶ街にしたら良いと思います。

石阪 今の若い人の感性は柔軟で巾があつて絵でも日本画が好きだと言うかと思えばジャズ・パー・ジョーンズが良いと言いつたり、新旧を自分の感性で消化するんです。我々はいつもヨーロッパやアメリカに教えられて来て、「今日的あるいは現代的アートでなければいけない」とか「古くさい」とか「新しい」とか区分けして考える。感性でなく方法論で考える我々の病気を一掃してくれる、これからの文化だという気がします。

尾上 神戸のハイカラは今の若者にはちよつとした古さがあつて、異人館という言葉、洋食という言葉も明治のハイカラでその古さを楽しんでいるんですね。

石阪 拒否反応でも個人の感性に素直なんです。

水谷 ある重厚大型企業の新しいプロジェクトに協力して仕事をしていますと、若い社員達が我々専門家よりの確な判断をすることがあるのです。彼等は一つにはたくさんの人とチームワークで仕事をして来たこと。も一つは海外の仕事をして来ている、それも恵まれないローカルなところから資源を持って来るようなことをしていたり、民族と地域について体験豊かで、国際的な判断力があるんです。

経済人に期待したいことは、専門的な枠で育った芸術的あるいは学問的筋書きと違った視点で素直に判断していただき、確かなものを選び分けて頂くということだと思います。どこかでやった三番煎じ、どこかで儲かったからという古い経済観念でやるのは止めて欲しいですね。

尾上 企業と文化の関係では一例がイタリーのフィアットで、これはアネッリ一族が経営しているので、社内でも厳重に賃金を抑えているが、福祉・文化には金を出す。逆の経営体質のところは文化にケチる。金の出どころは一つですから両方はできない(笑)。限界があるのでしょうか調和をとってやっていただきたいですね。

石阪 今迄は文化については行政が先取りしてたんですが、今は経済人がやり始める。行政と組んでいたいでやってもらつたらどうでしょうね。

水谷 行政はどうしても与えられた地域や都市の枠があり、神戸のことばかりになって客観的な視点が持てない限界がありますが、経済人は地域から離れることもできます。しかし儲かるからということで短絡化して考えては元も子もない。

明石大橋は神戸で中・四国と関西を繋ぐ

尾上 商売や資本は国境も越えてしまふ時代ですから水谷さんのご専門の地域計画的に橋というようなハードができることで神戸は変りますか？

水谷 神戸がより広い他の地域の手伝いができるかどうか、どう協力ができるかという思考を広げてゆくことで

すね。淡路と神戸がサンフランシスコとバークレーの關係のようになれば良い。空港も大阪の空港、神戸の空港といわずに大阪湾空港システムとしてネットワークしてゆくように大らかになる必要がありますね。

石阪 橋のたもとの町はどうなるでしょう。今はハイウェイが山の方から出て舞子などはたもとにならず、たとがたもとの景色になりませんね。

尾上 二十一世紀の初め十年は明石海峡が世界最長ですが、イタリアのメッシナ海峡に橋ができると一キロメートル長くなる。昨年私はそのメッシナ海峡の橋の経済・社会的効果を調べに行ってきたのですが、その点は割に樂觀的ですね。たもととしての舞子・明石というのではなく、もう少し広い領域でね。

今、瀬戸大橋のおかげで中・四国圏が成立して来ています。学会でも中・四国部会ができて橋の文化効果は大きいですよ。しかし明石大橋ができると神戸は淡路、四国と繋がるので、中・四国に通じる関西の窓口になるのが特徴ですね。橋によって流れが変わって来て、大阪に対してある種の差がついて来ますね。

ファッション・グルメ・味のある町並

——文化づくりの上で神戸としてはどんな取り組みが必要でしょうか。

尾上 今年ワールド・ファッション・フェア(W・F・F)が京阪神で開催されますね。世界的にファッションというパリとミラノが代表ですが、ミラノのファッション発生のもとは素材の生産地であること、デザイナーが住んでいることからですが、パリは需要があったことから、パリの文化・都市というのがファッションを求めたんですね。現在パリ・ファッションの八割ぐらいはイタリアの生地で作ってもイタリアでしているんです。神戸と大阪を見ると、大阪は生地の生産地でセンスが良いとかの需要からではなく、神戸はお客さんがファッションを引っ張ってゆく側面があります。ハイカラの伝

統で貴重なものがありますね。

水谷 生活文化を対比すると神戸は生活様式、大阪は家電に代表される生活装置、京都は生活伝統という特性があります。神戸はライフスタイルの楽しさ、面白さ、魅力を素直に出すことですね。食べものも伝統というよりライフスタイルでし、ファッションもそうですね。

石阪 神戸には個人美術館がないですね。名古屋は荻須美術館があるし北海道にも三岸好太郎美術館があります。都市のステイタスとしてイメージのはっきりした美術館が欲しい。小磯良平先生の場合も県立美術館には一部しか飾っていないし、企画展では見たい絵をいつも見ることができないのです。

も一つは居留地の近代建築群が危ないです。今ここへ来る途中でも、一つ壊されているのを見ました。二度と作れないような建築物が絶望的な現実です。行政だけでは頑張り切れないと思うので、経済界の人達と一しょになって壊されることに歯だめをかけて守ってゆかないと、神戸の景色は悲しい貧しい景色になります。近代建築群が使われなくなった今、私達が黙っていたら、建てては数年で又建て換えられる不毛の現代建築だけの、つるつるの街になってしまう。

アメリカやヨーロッパでは古い建物を大事にしていますよ。パリも古いルーブル美術館があつてこそ工場みたいなポンピドゥーセンターが許されてお互いに生きるんです。レトロ嗜好じゃなく対比があるから味があるので、異人館も外国では館としての価値は低けれど日本にあるから意味があるんです。小松益喜先生が異人館の保存を訴えても取り上げられなかったが、テレビのドラマのおかげでうまい時に歯だめがかりましたね(笑)。

水谷 どうして潰れるか、壊してもっと大きな建物に置き換えるためなんです。古い建物の使い方は研究され、いろいろ試みが蓄積されていますからね。方法はありません。問題点は土地の権利です。ニューヨークなどでは利用の権利を他の土地に持つて行ってそこを残す。神戸の

場合、ポートアイランドなどがあって交換できるんですから、栄町に建てるより土地を新しい場所に置き換えるとか、経済的メリットがあるんです。行政は神戸の街の新旧の積層的な良さを活かすために新しい土地をどう活かすか、リーダーシップを果すべきです。自由経済の中でもいろいろ仕組みは作れるのですよ。

――街並みのことでは、神戸の街は三角の屋根が似合うという話をもっと言い続けた方が良いでしょうね。

石阪 ある座談会で四角い建物ばかりで単調になるので新しい島（ボーアイ）には三角形のものも作ったらと僕が言ったんですが、言って良かった（笑）。潜在的に伝わって浸透してゆくんですね。ポートアイランドでも増えたし、市役所もトップを三角形にするんだそうですね。居留地の問題についても同じだと思います。

神戸を文化の中心にする方法

尾上 文化といえば大学です。神戸の大学、関西学院大学と神戸女学院はキリスト教の大学で、やっぱり港と関係があります。外国人がやって来て住みついて、伝統として大学を作った。文化というものは見え透いたものではないけない訳で、この二つの大学の伝統を活かして、設立の動機は実利的であっても文化的なおいのする学園都市が広がって行くように、神戸らしいハイカラなスクールカラーの大学を作って欲しいですね。

水谷 神戸の印刷会社で全国の学校卒業アルバムをつくっているところの話では、神戸は街と学校の関係に風景があるのでもやり易いと言っていましたね。大学を一か所にまとめるというのではなく、街中に大学のキャンパスがあるキャンパスシティというのが面白いと思います。

また私だけの考えではないのですが、例えばポートアイランドの新しい埋立て地に、ドンと、神戸大学を移して、世界的な大国際キャンパスを神戸のシンボルとするという考えなども大変面白いと思いますよ。

石阪 その神戸大の跡地に工房集団を作ってクリエイター

ーを住みつかす。住みつくるとそこに何かのちが宿って来ます。たとえば芸大の卒業生で十年経つとほとんど音楽や絵でなく他の事でめしを食っていますね。環境から意欲や魂を失って行くのですね。こういう魂のために神戸は良い土壌を持っている。クリエイターが居つくように、学校を作ってそこで学び卒業して仕事で住む、そういう環境を作る。僕が神戸に居るのは神戸で絵を描いていたら何かできへんか、と思うからです。東京に行くとか戦死してしまふ。東京は無風土な戦死する土壌ですね。

水谷 六甲山を活用すべきですね。コンベンションを海ばかりでなく六甲山にも施設を作るべきですね。六甲山、有馬は関東でいえば箱根ですね。夏は六甲山で暮して、そこから日本中、世界中に出て行くことが可能なんです。六甲山を世界のリゾートにすべきです。いまのままではもったいないですよ。

尾上 人（外国文化人、日本文化人）が寄りつく環境を作って、インフラストラクチャー（産業基盤）にし、文化情報を集めてこちらから発信するというやり方ができるのではないのでしょうか。都市文化に貢献できるような人、文化的においを持ち込む文化人や学者が住みつく環境を作ったら面白い。私の旧制姫高の先生でトマス・サッチェルという人が神戸でラフカディオ・ハーンと一しよに、神戸で日本最初の英字新聞を作ったんですね。日本の科学、文化の担い手と市民の間に交流が発生したら非常に面白い。企業に注文すれば頑張ってここを基地として世界に出てゆくということをやって欲しいですね。

水谷 若い人が、この部門の勉強をするなら神戸に行かなければあかん、というものがもう少し欲しいですね。国際経済を勉強するなら神戸の大学で、というぐらゐのものを再び育ててゆきたいですね。

――昔は文化でめしが食えるか、と言っていましたが、今は文化がないとめしが食えない時代です。神戸文化にとっていろいろと大きな示唆に富んだお話をありがとうございます。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町6丁目5-1
TEL (078) 303-3311



時 間	定 員	参加料金
午後7時～	30名	20000円
午後6時～	20名	4500円
午後6時～	15名	10000円
午後6時～	30名	15000円
午後6時～	25名	15000円
午後6時～	20名	18000円
午後5時～	30名	18000円
午後6時～	15名	25000円
午後6時～	14名	20000円
午後6時～	50名	12000円
午後6時～	20名	20000円
午後6時～	15名	15000円
午後6時～	30名	15000円
午後6時～	15名	10000円
午後6時～	30名	18000円
午後6時後 午後8時半	40名 40名	8000円 8000円
午後5時半～	30名	20000円
午後6時～	30名	30000円
午前11時～	30名	20000円
午後7時半～	25名	5000円



グルメ プロムナード KOBE

さあK O B Eのグルメを楽しんで下さい！
シェフご自慢の料理、そして食談と音談

3/22 (水) 3/23 (木) 3/24 (金)

国際港都として海外諸国の生活文化が数多く入り、全国に伝播されていった神戸の街。その魅力の一つに食べ物の美味しさがあり、和食・洋食・中華とあらゆる料理を身近に楽しむことができます。神戸ではWFF (ワールド・フアッション・フェア) の一環として「食」をアピールする「グルメディアK O B E'89」を開催するが、それに備えて来たる3月22日から3日間、神戸の街の顔であるレストラン、料亭による楽しい食談・音談を盛り込んだ「グルメ・プロムナード」を次表の日程で開催します。

シェフが腕を振るった自慢料理と、多彩なゲストによる楽しいお話や音楽をぜひ楽しんで下さい。皆様の参加を心からお待ち申し上げます。

〈都合によりゲストが代わる場合があります。御了承下さい。〉

●グルメ・プロムナード参加要領
△申し込み方法
参加ご希望の方は、開催日時、会場(参加店名)、料金などを良く確かめて参加各店または神戸グルメ・フェア実行委員会事務局までお電話でお申込み下さい。

△参加費入金方法
お申込みがあれば、後日、参加チケットおよび参加店等を紹介したグルメ・プロムナード・パンフレット、参加費請求書をご送付いたしますので、指定口座に参加料金をお振込み下さい。なお、ご入金金があれば無効となります。指定期日(請求時に明記)までに必ずご入金下さい。

△予約のキャンセル
予約された方が、開催当日参加されなかったり、開催日の3日前以降にキャンセルされた場合は、参加料金の払戻しはできませんので、くれぐれもご注意下さい。

△その他
その他不明の点は、神戸グルメ・フェア実行委員会事務局(神戸市中央区港島中町5丁目1番 神戸商工会議所産業部内) TEL 078-303-1580 直通 FAX 078-303-1231 078-303-078(3) 1) 2246 までお問い合わせ下さい。

主催／神戸商工会議所

神戸グルメ・フェア実行委員会
Tel 078-303-5805 (直通)
Fax 078-303-2310

開催日	店 名	住 所 ・ 電 話	ゲ ス ト
3/22 (水)	ジャンムーラン (フランス料理)	中央区北野町3-1-1 (242-4188 美木)	大島 渚 (映画監督)
	とんかつ武蔵 (とんかつ)	中央区港島中町6-1 ホテルゴーフリッツ 1 F (303-0634)	内海 重典 (演出家)
	バーグ (フランス料理)	中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル 24 F (251-1961 魚住)	フィリップ・バートン (ハーブ奏者)
	シェラメール にしむら (フランス料理)	中央区山本通2-1-20 (242-2467 川瀬)	戸川 昌子 (作家)
	海 星 (海鮮酒家)	中央区港島中町4-1 神戸ポートアイランドビル 11 F (302-0008 遠藤)	大森 一樹 (映画監督)
	桃花春 (別館牡丹園) (広東名菜)	中央区京町25 オリエンタルホテル B 1 (331-8111 391-8888)	山内 美郷 (エッセイスト)
	西村屋 (日本料理)	中央区磯上通7-1-20 (232-3663 西村)	道上 洋三 (アナウンサー)
	馳 走 (日本料理)	中央区山本通4-26 (222-6022)	奈良本辰也 (歴史学者)
	ルー・サロメ (フランス料理)	中央区中山手通2-3-7 第二あなもん亭ビル 1 F (392-1251)	朝比奈千足 (指揮者)
3/23 (木)	神仙閣 (北京料理)	中央区下山手通2-13-1 (331-1263)	桂 小文枝 (落語家)
	ゲーニー・北野 (フランク料理)	中央区北野町2-7-18 リンズギャラリー B 1 (242-2562)	多田智満子 (詩人)
	グラシアニ (フランス料理)	中央区北野町4-8-1 (242-0597 今田)	榛名 由梨 (タレント)
	トゥール・ドール (フランス料理)	中央区諏訪山公園展望台 (351-1282 241-0168)	吉本 晴彦 (吉本土地建物 KK社長)
	栄 弥 (割烹)	中央区三宮町2-2-7 (331-5772)	奥村 彪生 (料理研究家)
	西村屋 (かに料理)	中央区磯上通7-1-20 (232-3663 西村)	村松 友視 (作家)
	トム・キャンティ (レストラン・バー)	中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル 1 F (331-2122 神)	湯井 一葉 (シャンソン歌手) ピアノ/中田 実郎
3/24 (金)	お可川 (天ぷら)	中央区北野町1-5-10 (222-3511)	上沼恵美子 (タレント)
	松の家 (日本料理)	中央区花隈町3-34 (371-1921 鵜殿)	望月 美佐 (書道家)
	アランシャペル (フランス料理)	中央区港島中町6-10-1 (302-1111 企画・高橋)	豊竹咲大夫 (文楽協会 枝芸員/邦楽家)
	蛸の壺 (たこ焼)	中央区三宮町3-2-1 (391-1033 392-7256)	西口 菊丸 (顧問)

話題のひろば

<I>

□ 上方お笑い大賞功労賞受賞
△ 楠本喬章 △

楠っさん

頼りにしてまっせ！



左上是楠っさんを囲んで右隣下村風月堂社長、左端馬野満雄。右上は桂米朝、露乃五郎、夢路いとし、桂小文枝、笑福亭仁鶴。左下は文福の河内音頭。中右上は女流落語家からバレンティンチョコを。右下はかけつけた枝雀。中左上は、笑福亭鶴瓶たち若手も揃って。左中下は漫才も頼みますといとしさん。

「新開地の松竹座のような定席が神戸で、何とか復活して欲しいでんなあ」と桂春蝶さんの切実な声。あの松竹座があった昭和四十七年に、漫才に押され気味だった落語の復興をめざし、兵庫の柳原に楠本喬章さんは、場所を提供した馬野満雄さんと九十席の「柳笑亭」を開いた。鶴瓶の初舞台もここ。笑クリエート社社長の楠っさんの奮闘はめざましく、五十一年からは、東灘区民センターで笑民寄席、五十三年に風月堂ホールで「もとまち恋雅亭」を毎月十日に、隔月開催の「兵庫区民寄席」。そして神戸文化ホールでの東西寄席を十五年近く続け、若手落語家を育ててきた上方落語のプロデューサーとして、上方お笑い大賞功労賞を受賞。

二月十三日の夜、元町風月堂ホールで、桂米朝、桂小文枝、笑福亭松之助さんらが発起人となって受賞を祝う会が開かれ落語家やファン二〇〇人が集った。風月堂の下村社長は「まんじゅう屋はホールを提供し、あんこをつめるのは楠っさんの仕事」と。当夜は、おなじみの露乃五郎、桂枝雀、笑福亭仁鶴、桂春蝶、笑福亭鶴瓶、林家染二、桂福団治、桂文福さんらがお祝いにかけつけ、義理人情に厚い落語と同じ風情の中で「今は百四十人になった落語家のため、頑張ります」と楠っさんは口を結んだ。

話題のひろば

<II>

■第13回神戸文学賞授賞式

今こそ“真の文学”の創造を

月刊神戸っ子主催「神戸文学賞」(小説)は今年13回目を迎え、去る一月二十三日、神戸風月堂ホールにて授賞式が行われた。

次代を担う新人の発掘と顕彰を責務とする同賞は、第十回から公募対象を西日本から全国に広げ、ローカル色を払拭、編集部と選考委員が一体となって、明日の文学界を席巻する新人作家の発掘・育成に尽力を傾けている。

さて本年の受賞作は門田 露さん(西宮市在住)の「お夏」佳作は弓 透子さん(大阪府在住)の「インディアナの長い影」。

門田さんには副賞として三十万円と羽田悦子作のレリーフが、また弓さんには五万円がそれぞれ贈られた。

賞の贈呈のあと、選考委員の杜山 悠、武田芳一、鄭 承博各氏がそれぞれ選評を述べた。

とりわけ杜山さんは、時流に悼されない「真の文学」の創造は如何に難しいか、然るが故に苦しくとも書き続けねばならないのが文学を志す者の宿命であることを縷縷開陳、受賞者をはじめ会場の多数の文学関係者にとっては、改めて身を引き締められる思いであった。授賞は終りではなく、新たな一つの始まりであること——それは挨拶に立った受賞者二人の言葉の中に強く感じられたのである。



<上・左から>メッセージをのべる米花神大名誉教授、弓倉神戸文化振興財団専務理事、松谷紳紅屋社長、乾杯の音頭を取る奥村井護士。<下・左から>受賞者の弓さん、門田さん、選考委員の杜山さん、武田さん、鄭さん。

oh! タカラヅカ対談

杜 けあき

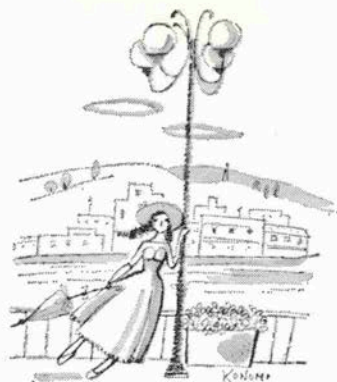
<宝塚歌劇団・雪組>

& 岡田 敬二

<宝塚歌劇団・演出家>

鮎 ゆうき

<宝塚歌劇団・雪組>



杜 お稽古が始まる前は、ああし
よう、こうしようというんなこと
を考えていたんですが、実際お稽
古に入ってみると何も考える暇が
なくて、全くしあわせなことな
んですが朝から晩までタカラヅカ
しますね。

宝塚大劇場では、新生雪組を担
う杜けあき、鮎ゆうきコンビのト
ップ披露公演を上演中。舞台稽古
中のお二人を訪ね、演出家の岡田
敬二先生と共にグランド・レビュ
ー「ラ・パッション」のお話を
伺いました。ショーの構成、ある
いはトップ披露公演前の心境など
楽しい逸話が次々と飛び出します

■目標は千秋楽です

岡田 新生雪組に大いに期待する
という意味を込めて「ラ・パッシ
ョン」という情熱、希望に満ち
たタイトルをつけたんだけど、僕
はパウホールでの「おもかげ草
紙」を見ていて、コンビネーショ
ンの良さに関しては安心して
いるんだ。「ラ・パッション」もも
う八割がた仕上ってきてるよね。

鮎 最初は、私ここに居ていい
のかしら、と思ったりしたんです
が、私も次第にそんなことを考え
たりする余裕すらなくなつて、今
や前進あるのみという感じです。
岡田 新しいコンビというのは演
出家にとっても非常に楽しみなこ
とで、今回は特に若々しいコンビ
でもあることだし、おまけに一路
くんを加え、I Q 140 トリオって言
えるぐらい素晴らしい能力の持ち主
が揃ったんじゃないかな。



朝から晩までタカラヅカ 体力のみが勝負です！



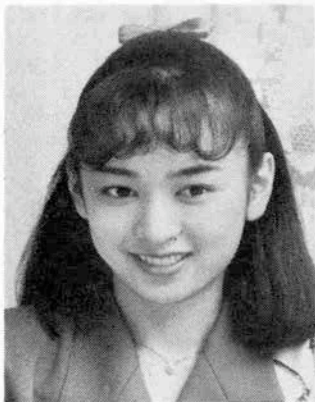
岡田 敬二 先生

杜 初めてコンビを組んだ「おまかせ草紙」は、お互い探り合いながら演ってたんですよね。でも鮎ちゃんは、大変役者根性のある人で、例えば前日できなかったことを次の日にはキツチリとできるようにしてくる訳です。そうすると私も——となって相乗効果を生む、いい結果が表われたような気がします。だから、千秋楽にはガツチリと手を組んで、コレはいける、と思いますよ。

今回も、目標を千秋楽において長い目で見ていただけたら、と考えているんです。

岡田 そうだね。昨日、鮎くんがアリスに扮するシーンを見ていて彼女の頑張りとキラキラした目が大変印象的だった。芝居と違ってショーというのは、エンターティメントの要素が必要でしょう。長い積み重ねで見せないといけないから、特に若い娘役の場合は大変なんだけど、この二人だったら何とかやってくれるんじゃないかな

杜 けあき さん



鮎 ゆうき さん

あ、なんて二人に対して失礼な言い方かも知れないね(笑)。

鮎 ショーって、溜め込んだものがないとダメだなんて本当に思います。たくさんあってどれからやればいいかわからない状態ですがひとつひとつ頑張ります。

■ 群舞の魅力「ラ・パッション」

岡田 タカラヅカの早変わりっていうと大抵一分以内、場合によっては30秒ぐらいでしょう。外でアイドルのステージ、早変わり三分でーというところ、えー、そんなに早いんですか。って言われるんだよ。考えてみたら大変な努力だね。

杜 でもタカラヅカのおそろしいところって、かなり無理を言われても、なぜか舞台稽古の間にできてしまうんですよね。私たちってホントにやだね、できちゃうからやらされるんだよっていつも言ってるんです(笑)。みんな根性あるんだなあと思いますよ。

岡田 毎回違うことをやらなきゃいけないから大変だね。今回は特に杜くんのいろんな要素を見てほしいということに重点を置いて、まずは「赤と黒」のシーン、そしてパソコン少年に扮した杜くんが冒険に旅立ち妖精の森へ、鏡の間へ、ラテンの世界……と多彩な場面が見られるわけ。パソコンの場面では小椋佳さんが作詞・作曲した歌があったね。

杜 鏡の間では、長靴下のピッピになってミニスカートで登場。雪組の男役が研一から組長まで揃ってミニスカートで踊るんですよ。すごく楽しいです。舞台で一場面でも、もう楽しくて仕方ないっていうのがあれば、それでストレス解消になるんです。でも、皆無理して若い女の子を装って踊ってるんで、かなりハードで息切れますね(笑)。

岡田 そのあとスベイシーな場面からラテンのシーンへ。ここでも雪組総出演なんだよね。二人を盛り立てるために、全員が張り切っ



一部はミュージカル“ムッシュ・ド・バリ”、二部は岡田敏二先生作・演出の“ラ・パッション”です。どうぞお楽しみに！

でもわらないといけないので、とにかく人海戦術だね。

杜 群舞の素晴しさっていうのがタカラヅカらしいところだと思うんです。全員で踊る場面って私の夢でもあったし、うちの組でも本当に久しぶりなんです。下級生なんかは上級生と同じ踊りを同じ時に踊ることを絶対経験するべきだと思います。私なんかも下級生時代にすごい感動を覚えました。最初は苦しいかもしれないけど、そういう喜びを感じられるようになったら、きっと組のパワーとしてすごいものになるでしょうね。

岡田 下級生が「こんなに踊ってもいいのかしら？」って涙ぐんだりしてるものね。もちろん、この熱気が客席に伝わらないといけないだけだね。

■香りたつような新生コンビ

鮎 私は大劇場のショーで踊るのは初めてなんです。前回の“スカイ・ハイ・スカイ”も“ダイナモ”も最後の方で少し歌振りをする程度だったので、まだ大劇場の大きさを感じるまでは至ってないんです。今回は、きっとそれを強く感じるんでしょうね。階段の振りなんかもあったりで…。

杜 あの大階段で踊ったり、回ったり、今まで10年間やってきて自分でよく落っこちなかったなあって感心しますね(笑)。

岡田 今度、フィナーレには二人とも大きな羽を背負うしね。

杜・鮎 エッ／＼

杜 あれってものすごく重いんですよね。この間、撮影でモサクさ

ん(平みち)の背負ってた羽を背負ったんですが、もう重くて動けなかったんです。今まで横で、すごいな、と思って見てるだけだったんですけど、いざ自分がやるとなると羽なんかなくていいからその分、思い切り歌ったり踊ったりしたいと思います。

岡田 なーちゃん(大浦みずき)のトップ披露のときは“キス・ミー・ケイト”だったんであまりつけられなかったんだけど、今回は思いっきり大きい羽根を用意してるんだ。

杜 ワー、やだあ(笑)やっぱり最近思うんですけどね、体力のみだって…。そのためには、仕事だと思つて一生懸命、食べてるんですよ。とにかく歌はヘタでもいいから声が出る方がいい、ヘタでもいいからからだの方が丈夫な方がいいって今回、本気で思いました。

岡田 元氣のある舞台を期待してるよ。僕は香りたつ素適な杜けあき、を見せていきたいなあ。

杜 今まで以上に素晴らしい舞台を頑張つてバンパシオン見せしめます。

(89・1・31 欧風レストランカラベルにて)



トップの貴族充分の杜けあき(右)と
鮎ゆうき(左)による新コンビ

ランズ
動くフ
で揺れ
乱の噂
公の反
バリー
世の死
ル7
シヤ

STAGE
●新生雪組の華麗なる
ミュージカルブレイ
パリのキャバレーで
スターだったフランソ
ワ(杜けあき)は、ある日
15世紀のフランスヘタム
スリップしてしまふ。彼は
実在の詩人で盗賊の快男児
フランソワ・ヴィヨンにそ
っくりなことから、彼の素
姓を知る貴族ロベール(一
路真輝)の協力を得た。ま
た王太子ルイが恋する美女
カトリヌ(鮎ゆうき)に
会い恋におちる。国王シヤ

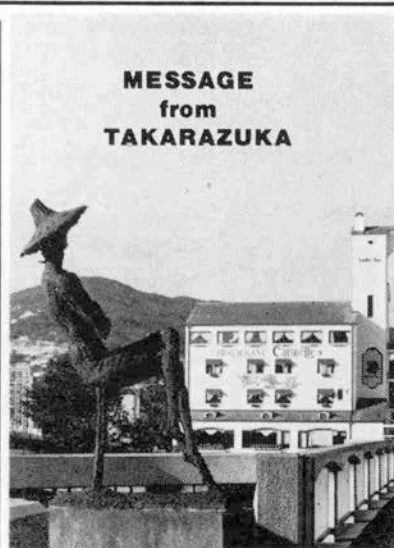
★ミュージカルブレイ「ムッシュ・
ド・バリー」16場 太田哲則作・演
出 グランドレビュー「ラ・パッシ
ョン」24場 岡田敬二作・演出
2/17/3/28 宝塚大劇場 S3
6000円 A25000円 B160
0円 C7000円(水曜休演)

新国王ルイXI世はフランソ
ワを総司令官に任命し、反
乱を鎮圧させようとする。
そして勝利の凱旋。しかし
彼には、不敬罪で絞首刑に
待っていた。カトリヌが
身代わりをかって出、二人
の愛が成就しようとするそ
の時、またフランソワは不
思議な光につつまれ…。
2部はグランドレビュー
「ラ・パッション」情熱
友情、恋、希望と新しい未
来へ前進してゆく姿を華や
かに描く。



一路 真輝 なる
約東が

新国王ルイXI世はフランソ
ワを総司令官に任命し、反
乱を鎮圧させようとする。
そして勝利の凱旋。しかし
彼には、不敬罪で絞首刑に
待っていた。カトリヌが
身代わりをかって出、二人
の愛が成就しようとするそ
の時、またフランソワは不
思議な光につつまれ…。
2部はグランドレビュー
「ラ・パッション」情熱
友情、恋、希望と新しい未
来へ前進してゆく姿を華や
かに描く。

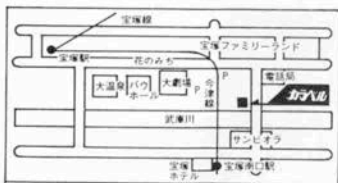


MESSAGE from TAKARAZUKA

宝塚歌劇 座席券セットのホテル

宝塚レディーズイン

●ご宿泊(朝食付) お一様¥5,500
(税・サービス料なし) 全室バス・TV付



阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001

BOW HALL

●青春グラフィティ
「硬派・坂本竜馬」
幕末の風雲の中を突
き進んだ男、坂本竜馬
(真矢みき)。千葉道
場での剣術修行から、
海援隊の誕生、新撰組との
戦いを交えて、彼のさわ
やかな生涯を描く。
★花組バウホール公演「幕末青春
グラフィティ」硬派・坂本竜馬
石田昌也作・演出 3/26/27/3/12
宝塚バウホール 3000円

●春の星組公演は花歌舞伎
とミュージカルで
宝塚歌劇75周年の春を寿
ぐ、華やかな日本物ショー
「春の踊り」。1930年代
のニューヨークを舞台に悪
の道のサクセス・ストーリ
ーを夢見る男女の姿がミュ
ージカルで描かれる「ディ
ガ・ディガ・ドウ」の2本
をお楽しみ下さい。
★宝塚レビュー「春の踊り」恋の花
歌舞伎 16場 酒井澄夫構成・演
出 ミュージカルレビュー「ディ
ガ・ディガ・ドウ」24場 小原 稔
演出 3/30/15/9 宝塚大劇
場(水曜休演)

NEWS

●友の会へのお誘い
素敵な夢を贈り続け
る宝塚の舞台。そのレ
ディードリーマーの世界
への架け橋、宝塚友の会に
あなたも入りませんか。
A会員/六カ月 三千三百
円で毎月「歌劇」を郵送。
B会員/六カ月 三千三百
円で毎月「宝塚グラフ」を
郵送
普通会員/一年 二千二百
円で毎月「宝塚だより」を
郵送
その他、友の会行事への
参加、座席予約などの特典
もあります。
花の道にある友の会サロ
ンは宝塚の情報がいわば
い。気軽に寄下さい。
お問合わせ・申込みは
宝塚友の会サロン 〒665宝
塚市栄町1の1の57 ☎07
97(85)6801 郵便振替
口座神戸9-113286

KOBE FASHION SPOT

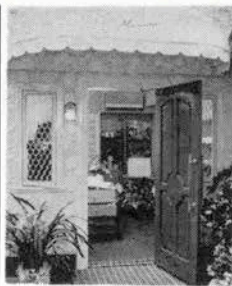
★夢のつづきを見てよう……

女性が甘い憧れをいだくのがランジュリー。『きれいなものを』。可愛らしいものを……。憧れは甘く広がる。

トア・ロードにオープンしたランジュリー・ショップ「MARIE」では、その「憧れ」が手に入る。真・赤な扉を開いたら、美しいレースや可愛らしいフリルで飾られたランジュリーが花のようにディスプレイされ、まるで夢のつづきを見ているよう……。

「MARIE」の商品は、オーナーの文野マリさんが、外国で直接買い付けをしてきたインポート・ランジュリー。そのため手頃な値段となり、叶いやすい「夢」になった。

■中央区山本通り3丁目7-25メゾン・ア
★(078) 261-1197



“夢”で逢いましょう！

★イズムから

インポートブランドがデビュー

KOBEのファッションメーカー「イズム」が今年、2月に8周年を迎えた。これを機に11番目の会社「ループ」が6つ目のブランド「ループコスモポリタン」がデビューした。A輪Vを意味するこの「ループ」は、ターゲットをキャリア・エグゼクティブに絞ったインポート・ブレタ。ニットの高級品を軸に、インポート雑貨でアクセントをつけた商品展開になる。

「ループ」はイズムネットワークの「匠の心が息づく」を基本コンセプトに、国・地域・名前にこだわることなく、ものづくりの心にとこだわったブランドとなる。



小田慎義社長

デビュー・コレクションは3月13日から17日まで、イズム本社にて40点の作品を発表す

る。

★新時代への出発

学生の手による華やかなショー



テーマは「ニュー・ジャングリラ」

毎年恒例となった神戸服装専門学校（灘区永手町一、米谷玲子校長）のファッションショーが今年も1月28日、中央区の県民会館で開かれた。「ニュー・ジャングリラ（新しい理想郷）'89」をテーマに鮮やかな色のドレスやスポーツウエア、タウシュウエア、約三百点が勢揃い。その中には昨年9月に日本デザイン文化協会コンテストで大賞に輝いた河内美恵さんのケープ・ドレス・スーツや中国から留学中の葉蓉さんの日本風チャイナドレスも紹介された。制作だけでなく演出、モデルも自ら勤める学生たちはプロ顔負けの堂々としたステージを見せ、約千人の観客からは大きな拍手が湧き起こっていた。また、神戸市制100周年大会を記念して同校より寄付金十萬円が組織委員会へ贈られた。

★カール・ラガフェルトが

ココ・シャネルの真髄をさらに新しく

2月6日、夜、大阪リヤルホテルに於いて、シャネルの'89春夏コレクションショウが開かれた。1916年に、ココ・シャネルがセンセーションを起こしたヒアリス・スタイルやラインを、このころ人気上昇のカル・ラガフェルトが、現代のバランスで表現した「Le New look 1916」約50点を発表した。

いわゆるモボ・モガ時代を思わせるスタイルだが、ヨークイエロー、ピーチ、オレンジ



ネイビーブルーのスーツロング
ジレーアンサンプル

ジ、オリブなど春はビビッドに、夏はパステルと、さわやかな色調が主流。もちろん、白や黒、紺はデイトタイムにもアフターファイブにも使われ、夜のクレイプデザインやオーガジイづかいのデリケートな素材が新鮮。小物では、シャネルの時計がいい。

■大丸神戸店シャネルブティック ★331
8121

★大人のための社交場……

「JEWELRY&BAR」オープン
神戸北野にもそろそろ春一番。#PEARLS&JEWELRYのお店のセルジュがバーとしてオープンした。

そのオープンを記念したレセプション・パーティが2月9日（木）PM7:00から行われ、神戸の淑女と紳士が100名近く集まった。北野でドラマティックな一夜を過ごそうと開かれたこのパーティは、ゆっくりと流れる時間の中で、心地よくお酒と会話を愉しむハイクラスな集まりとなった。

カクテルは、¥800から。お昼にはコヒーをのみながら、宝石を楽しむそんなリッチなお洒落もできる。



ドラマティックナイト
Bar は深夜2時まで

■★(087) 222-0808 (JEWELRY)
★(078) 232-0048 (BAR)

'89 SPRING
COLLECTION

スタイリッシュに風にゆれる。
春の午後の、花。



serizawa
KOBÉ

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL. 078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちが店 ■P-1ビル店 KOBÉ-OSAKA・TOKYO-KYOTO-HIMEJI



お洒落のための
特典いろいろ
1枚のカードから

セリザワカード

大人の時間に、溶け込むように。

クリエイターとの情熱交差点 ワールドレセプション

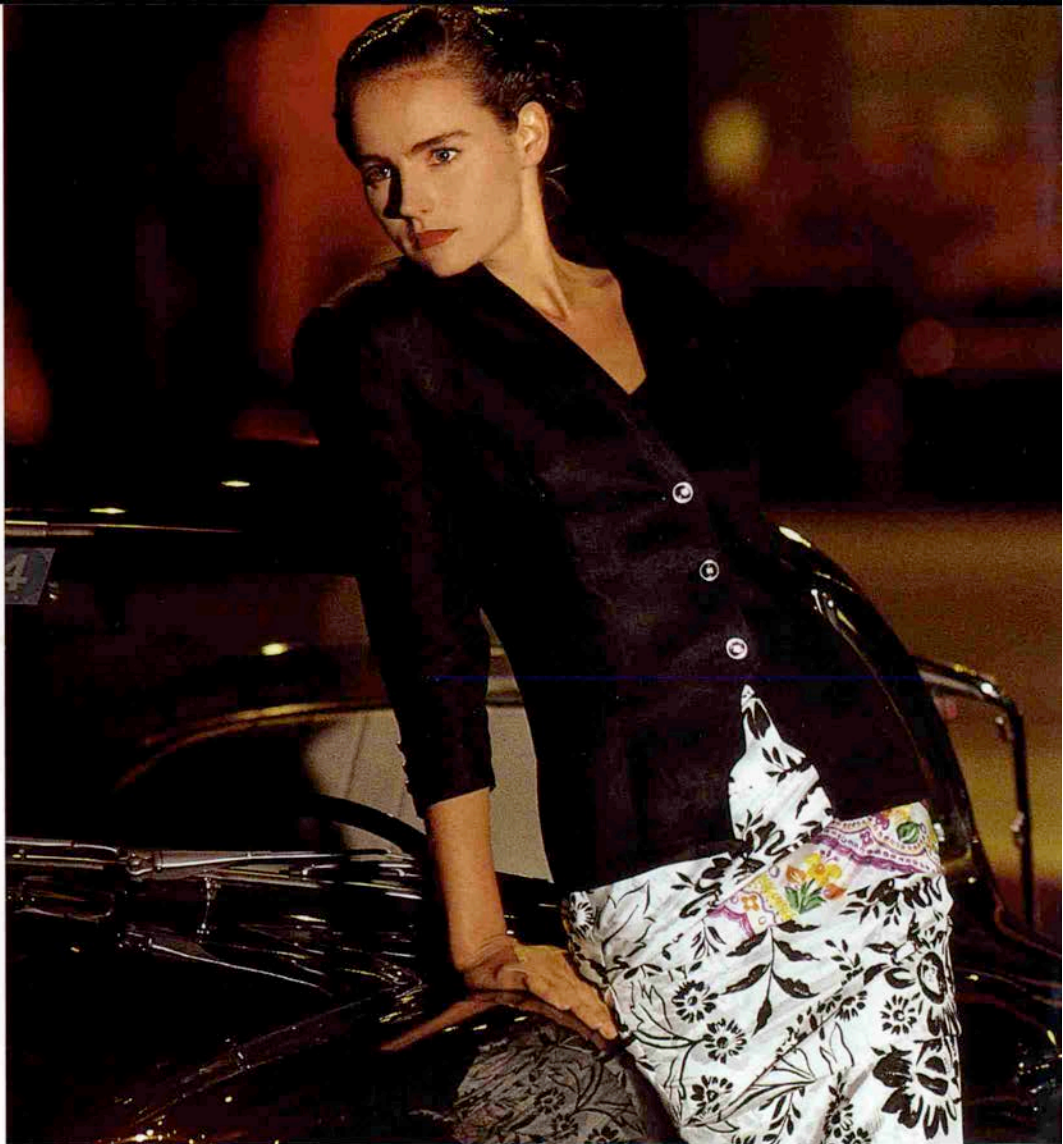
3^F WORLD RECEPTION

●ヴァレンティノ・ガラヴァーニ ●ジャンニ・ヴェルサーチ ●ジャン・マルコ・ペントゥーリ ●ミッソーニ ●ジェニー ●エレウノ

インターナショナルの素敵。

美しいもの、おいしいもの、
楽しいものに敏感なひと
の街、神戸。わたしたちは
この街で、海の向こうの文
化を自在にアレンジして、
上手に暮らしにとり入れて
いる。そんな素敵な生き方
に、お互い大きな拍手を贈
りたいと思います。

いま、時代の大きな波に乗
って、大きく変わろうとして
いる神戸に先がけて、3月
15日㊥、そごう神戸店は、
リフレッシュオープン「イン
ターナショナルの素敵」を
テーマに、国際都市神戸
にふさわしく、洗練された
毎日のお手伝いをいたし
ます。気持ち新鮮な、そごう
神戸店にどうぞご期待くだ
さい。



 **SOGO**
SANMOMIYA KOBE

3月15日(水)、新しい出逢いが待っています。

Style of LINE



スプリング・ シックを着る



春の訪れと共に、街にはパステルカラーが溢れ、コートをぬいだ軽やかなスタイルが目にとまる。

上質のクルールウールは茶色をベースにしたチェック柄。肌ざわりの良いパステルイエローのシャツにちよつと渋めのネクタイの組合せはライト感覚ながらも、シックな色合いが神戸ダンディズムを表わしている。カジュアルライクにまとめる時は、思いきり色と柄で遊んでみるのも楽しい。麻の肌ざわりの良さを、素肌に感じて、ランパンならではの色の組合せが新鮮。



- 本店 元町通2-5-19 ☎331-3112
- アジオ店 元町通1-8-16 ☎332-2800
- 大阪店 ナビオ阪急2F ■東京店 東急百貨店
- 渋谷本店・日本橋店・東横店・吉祥寺店・まちだ東急百貨店
- 札幌店 さっぽろ東急百貨店

写真上・ブレザー¥78,000 スラックス¥28,000 ネクタイ¥16,000 下・麻ブルゾン¥45,000 ポロ¥32,000 トレーナー¥14,000

LADIE'S

レ ノ マ
ラ ボ サ
クワトロスタジオネ
ヴィマードル

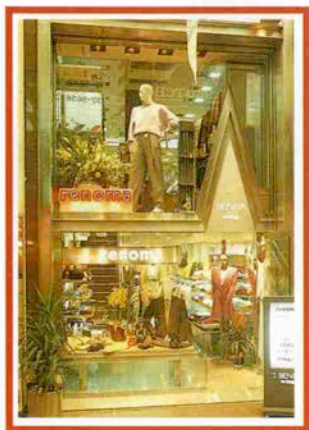


はばたいて、春!

レノマショップとして永らくご愛顧
いただきました「ベニヤレノマ店」が、
より装いも新たに「ウイング」とし
てオープンいたしました。小物から
紳士・婦人服まで豊富に揃え、あな
たのステイタスを素敵に演出します。

MEN'S

レ ノ マ
ク リ オ
ド マ ー ニ
ア レ グ リ ー



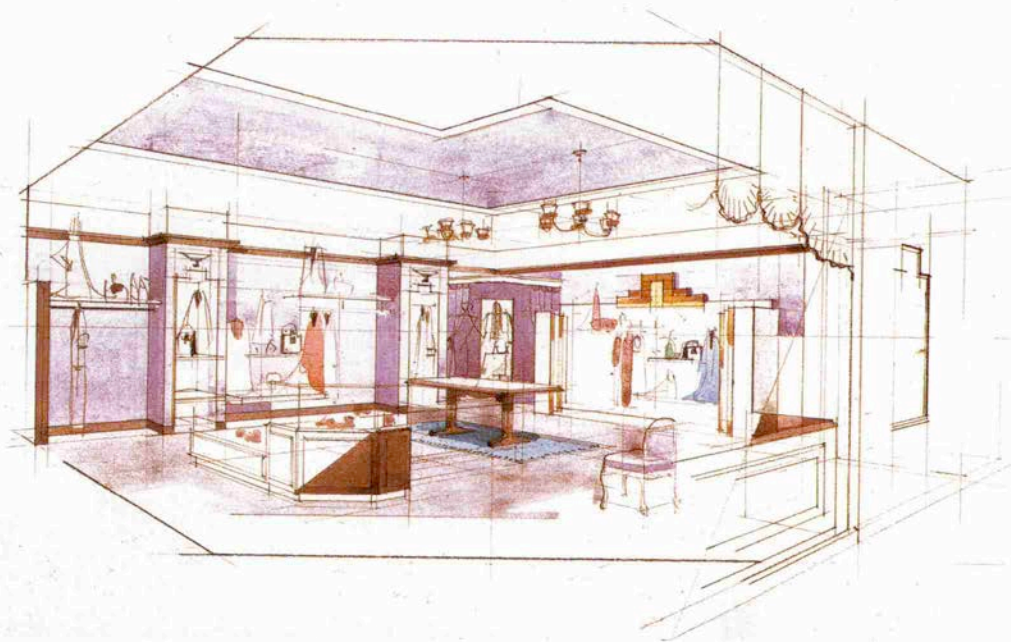
BENIYA
wing <旧レノマ店>

神戸市中央区三宮町2-10-7 三宮センター街
TEL. 078-332-0788



ちょっと気取って
アメニティーを演出します。

■ 須磨パティオ店 3月11日(土)OPEN ■



KOBE
MA SA

須磨パティオ店 (078) 792-5652

月刊神戸っ子

28周年記念パーティ

麻実れいショウ



第18回
ブルーメール賞表彰式
平成元年
神戸酒徒番附表彰式

'89

世

界

の

酒

祭

り

この秋WFFを成功させよう ファッション文化は神戸から――

4月4日午後5時30分開場 6時開催
於／神戸ポートピアホテル南館大輪田の間
会費／13,000円

神戸っ子倶楽部会員12,000円

文学

音楽

広岡隆正

舞台芸術

久田徹二

ファッション

村上和子

美術

松本 薫

森 栄枝

主催／月刊神戸っ子 後援／神戸百貨会
問合せ／月刊神戸っ子
神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
TEL 078・331・2246 FAX 078・331・2795